



## 1年生がクラブに加わります！



先週4日間の体験入部期間を経て、今日月曜日のクラブミーティングの場で1年生の入部が決定します。自分で考えて入部するクラブを決めるのですから、3年間続けることを前提に、クラブ活動に打ち込んでほしいと思います。何か困ったことがあったら、2、3年生の人や顧問の先生に相談してください。2年生、3年生の人は1年生の人が早くクラブになじめるように優しく、親切に教えてあげてください。クラブの中でも大切なのは、人を大切にできる活動の場をつくることです。1年が加わった新クラブの活躍を期待しています！

## 6月は・・・豊中空襲、「沖縄慰霊の日」の月です

「平和について考える月」といえば、広島、長崎の原爆投下や終戦の日がある8月をイメージしますが、6月も平和について考える節目の月だと言えます。

わたしたちが暮らす豊中市も、1945年の6月から7月にかけて、6回もの空襲を受け、約600人の方が亡くなったり、行方不明になったりしました。中でも被害が大きかったのが、6月7日と15日の第1回、第2回豊中空襲です。豊中駅から蛍池駅付近も爆弾や焼夷弾（しょういだん）が落とされ、大きな被害を受けました。



左の写真は豊中空襲から49年後の1994年に、刀根山4丁目の住宅造成地で発見された1トン爆弾の不発弾です。この爆弾一つが爆発すると半径300mの地域が危険地帯となるほどの威力です。それが空襲ではいくつも落とされるわけですから地獄のような状況です。（蛍池南町のお隣の玉井町でも1998年に1トン爆弾の不発弾が取り除かれました）

人の命が奪われ、人の体や心が傷つけられ、生活の場である家や町が破壊される。そんな戦争が二度と起きない努力を、わたしたちは続けていかなければならないと強く思います。

（写真：刀根山小学校創立30周年記念誌より）

## <6月23日 「沖縄慰霊の日」>

沖縄は太平洋戦争末期日本で唯一、一般住民を巻き込んだ激しい地上戦がおこなわれた場所です。沖縄県民の4人に1人が命を落としたと言われています。1年生、2年生は修学旅行で沖縄に行く予定なので、また来年や再来年に詳しく学んでほしいと思います。6月23日は日本軍の組織的な戦闘が終わった日で、毎年沖縄平和記念公園内で沖縄戦の犠牲者を追悼し、平和を誓うセレモニーが行われます。そのセレモニーでは児童や生徒の「平和の詩」が朗読されます。2013年の「平和の詩」を朗読したのは、小学1年生の安里有生（あさとゆうき）さんでした。

### 『へいわってすてきだね』

へいわってなにかな。  
ぼくは、かんがえたよ。  
おともだちとなかよし。  
かぞくが、げんき。  
えがおであそぶ。  
ねこがわらう。  
おなかがいっぱい。  
やぎがのんびりあるいている。  
けんかしてもすぐなかなおり。  
ちようめいそうがたくさんはえ、  
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。  
みなどには、フェリーがとまっていて、  
うみには、かめやかじきがおよいでいる。  
やさしいところがにじになる。  
へいわっていいね。へいわってうれしいね。  
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい。  
「ドーン、ドカーン。」  
ばくだんがおちてくるこわいおと。  
おなかがすいて、くるしむことも。  
かぞくがしんでしまってなくひとたち。  
  
ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。  
このへいわが、ずっとつづいてほしい。  
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。  
  
へいわなかぞく、  
へいわながっこう、  
へいわなよなぐにじま、  
へいわなおきなわ、  
へいわなせかい、  
へいわってすてきだね。  
  
これからも、ずっとへいわがつづくように  
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里さんの詩は話題になり、絵本作家の長谷川義史さんが本にされたので「読んだことある」という人もいるかもしれませんね。

小学校1年生が一生懸命考えた「へいわなせかい」そして、「できることからがんばるよ」という決意。みなさんにとって「へいわなせかい」ってどんなことでしょうか。来月7月には、学校全体で長崎の原爆について学ぶので、ぜひみなさん一人ひとりの「へいわなせかい」を考えてみてください。当時小学1年生だった安里有生さんも、今は中学3年生です。